

塀改修工事終了



昨年十一月よりの市場側入り口塀改修工事が終わりました。旧塀は大谷石を積んだだけで地震にも弱く、道路沿いで危険なため、木造の塀に取り替えました。桜の季節には綺麗な景観となることでしょう。

訃報

佐久間敏夫氏 (東本町)

入院加療中のところ逝去されました。享年八十八、氏は四十年の長きにわたり寺役員を務めていただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

宗法人と住職

宗法人が頂戴する御布施は寺院に対しての労働報酬でなく、檀信徒からの寄付行為とされ、その収入については非課税扱いです。しかし、住職個人は宗法人から給与を頂く立場であり、したがって給与所得は個人への報酬となり、国税、県民税、市民税などの所得税を納入しています。確定申告をしている納税者です。宗法人の宅地(貸地)に関しては収益事業として地代収入に対する税金及び相応の固定資産税が発生しています。▼当寺では年末にお檀家様から頂く「月忌米・護持費」年間合計450万と布施収入、地代収入を合算して宗法人を運営しています。その内容につきましては、本山費130万、境内整備(堂内清掃、堂外草取り、墓地除草、ゴミ処理、庭木剪定、冬囲い)、警備システム(防犯カメラ、警報装置)、建物保険、地震保険、寺報印刷、過去帳等の寺院管理ソフト費、コピー機リース事務通信他で計350万、また、堂内外修理(塀工事、樹木伐倒、

本堂・位牌堂壁面修繕工事等)、大般若法要費等も宗法人広厳寺の支出で行っており、檀信徒からのご寄付は臨時行事(2000年の住職晋山式)で頂いてより一切ありません。境内に墓地をお持ちの方よりも墓地清掃料の名目で年間いくらか頂戴しております。また、「月忌米・護持費」の内訳の中には位牌堂維持費二千元(位牌壇持ちの方)が含まれていますが、この費用により位牌段の清掃、古くなった造花の取り替え等を行っています。なお、恒規大般若祈祷料、年忌法事、春秋彼岸礼、お盆礼、お年始等は檀信徒の皆様の随意ですのでお任せしています。▼お寺では布教活動として「2009年より寺報「乗雲」を発行し、今号で108号になります。また、2000年からは広厳寺ホームページを開設しています。内容は、年間行事、法話、仏事の知識、各種行事案内等があります。ぜひご覧下さい。▼寺歴五百年の広厳寺が益々檀信徒皆様の心の拠り所となりますよう精進努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

口梅花だより

人の此の世の儂さは 冥路に急ぐ露の身の 暫し仮寝の旅枕  
あわれ常なき世なりけり  
昨日の人は今日はなく 会えば別る世のならい 夜半のあらしに散る花の もろきは人の命なり

無常御和讃

通夜の席にてお唱えする梅花流詠讃歌の中の「無常御和讃」の一節です。人生は誠に諸行無常です。どんなに大切にしている人でも、愛する人でも必ず別れという定めが待っています。両親、祖父母、曾祖父母、これだけでも十四人、その方々がいたお陰で今の自分があります。毎日お仏壇に手を合わせて、亡きご先祖に感謝し、冥土の幸福、ご冥福をお祈りいたしましょう。

梅花流詠讃歌 CD 供養編 ~御霊よ永久に安らわん~



無常御和讃・追善供養御和讃のほか、ご供養の曲を収録しております。(頒価¥1,000+税)  
※CDのご注文は 曹洞宗ブックセンターまで  
フリーダイヤル: 0120-498-971

お問い合わせ先 曹洞宗宗務庁伝道部詠道課(03)3454-5416

曹洞宗では梅花流詠讃歌 CD「供養編~御霊よ永久に安らわん~」を販売しています。ご希望の方はお寺までご連絡ください。